

患者の皆様へ

2022年12月14日

呼吸器外科

現在、呼吸器外科では、「肺癌切除例に対する機械学習による病理診断および術後生存に関する多機関共同研究」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2007年1月から2022年9月までに千葉大学医学部附属病院もしくは千葉県がんセンターで、原発性肺癌に対して手術を受けられた患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「肺癌切除例に対する機械学習による病理診断および術後生存に関する多機関共同研究」

2. 研究の意義・目的 「原発性肺癌と病理学的に診断された症例において、機械学習を用いて患者さんの臨床経過、画像診断、病理診断を解析します。これによりさまざまな臨床情報から適切な治療計画、特に手術治療の計画を適切に行えるようになり、治療アプローチの改善が得られる可能性があります。」

3. 研究の方法 2007年1月から2022年9月までに、手術による病理診断で原発性肺癌と診断された方の画像検査、治療歴、既往歴、合併症などについて診療録に記載されている範囲で収集して解析を行います。

4. 個人情報の取り扱いについて

個人を容易に特定可能な情報（氏名、ID、生年月日、住所等）は、情報管理責任者である鈴木秀海（千葉大学医学部附属病院）と岩田剛和（千葉県がんセンター）が厳重に管理します。データ等は、千葉大学では、千葉大学大学院医学研究院呼吸器外科研究室、および千葉大学フロンティア医工学センター野村研究室の鍵のかかる保管庫で保管します。千葉県がんセンターでは施錠可能な保管庫で保管します。解析終了後、解析に用いた情報は情報管理責任者の責任の下、施錠可能な保管庫で厳重に管理し、5年間保存した後に完全に消去します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。

5. 外部への試料・情報の提供

匿名化されたデータは研究代表機関の千葉大学医学部附属病院へ送られ、解析されます。千葉県がんセンターでもがんセンターのデータを使用して解析します。対応表は、各施設の研究責任者が保管・管理します。

6. 研究組織

千葉大学医学部附属病院

研究代表者：吉野一郎

千葉県がんセンター

研究責任者：岩田剛和

7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。下記窓口にご遠慮なくお申し出ください。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院呼吸器外科

本件のお問合せ先 : ①医学部附属病院呼吸器外科

医師 坂入祐一

043 (222) 7171 内線 5464

②千葉県がんセンター 呼吸器外科

医師 岩田 剛和

043 (264) 5431

研究代表機関 : 千葉大学医学部附属病院呼吸器外科

研究代表者 : 吉野 一郎

文部科学省・厚生労働省・経済産業省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。